

令和6年度 大規模災害時の支援協力に関する連絡会（始良・伊佐ブロック）議事録

場 所：始良・伊佐地域振興局本館4階 中会議室

期 日：令和6年5月20日（月）13：50～14：50

参加者：始良・伊佐地域振興局

建設部長	喜元 亨
土木建築課長	中山 昌樹
河川港湾課長	長崎 雅哉
伊佐市駐在参事	市来 竜郎
技術調整係長	前原 和寛
技術調整係	能見 克彦

鹿児島県測量設計業協会

会長	安永幸信
理事・連絡責任者(正)	霧島エンジニアリング(株) 中西 修
連絡責任者(正)	霧島エンジニアリング(株) 長坪 芳幸
理事・連絡責任者(副)	(株)中島測量設計 中島 勝弘
連絡責任者(副)	(株)中島測量設計 徳永 博幸

1. 挨拶（喜元建設部長、安永会長）

2. 打合内容

(1) 協定書及び連絡体制について【県】

・ 始良・伊佐地域振興局建設部の連絡体制

※勤務時間外の連絡先は個人の携帯である。資料の取り扱いには十分注意すること。

・ 協定書の説明

目的・対象となる大規模災害等

(2) 支援協力の範囲及び被害状況調査内容について【測量設計業協会】

・ 過去の支援協力要請

・ 災害対応研修会の開催(今年度は4/16に開催)

・ 災害支援協力の流れ

・ 災害調査員証明書、腕章、ベスト等

2024.4.16に実施された「災害対応講習会」の受講者のみ、身分証を配布し、支援協力を携わることができる。今年度受講者の身分証は黄色で着色されている。

・ 始良・伊佐ブロックの支援体制について

応援支援協力業者一覧に掲載されている32社のうち、青色でハッチングされている5社は連絡責任会社(正)(副)および、主たる事業所が始良・伊佐管内の業者である。

(3) 公共土木施設等の状況について【県】

・ 道路

国道7路線、主要地方道16路線、一般県道36路線

・ 河川

一級河川 川内川水系・大淀川水系：43河川

二級河川：44河川

・ 砂防

土石流危険溪流：282溪流

急傾斜地崩壊危険箇所：415箇所

地すべり危険箇所：20箇所

3. 意見交換

【測量設計業協会】

- ・ 発災時における台帳図の迅速な手配を要望
可能ならば、技術センターで管理されている台帳図を事前に振興局で保管していただきたい
- ・ 始良・伊佐管内企業を中心に、応援支援協力業者 32 社一丸となって対応する
- ・ 昨年度の DX 査定について説明

【県】

- ・ 発災時の調査箇所の割り振りはどのように行うのか

【測量設計業協会】

- ・ 災害の種類(道路災・河川災等)や規模にもよる
令和3年度の伊佐地区の調査では、河川毎に調査会社を割り振った。その際、河川台帳により県の管理範囲を確認した。やはり、初動調査において、台帳図は重要である。

【県】

- ・ 割り振りはどちらが行うのか

【測量設計業協会】

- ・ 協会のほうで協力可能業者を募り、迅速に割り振る

【県】

- ・ 被災状況調査でドローンを使用したりするのか

【測量設計業協会】

- ・ 調査会社や被災状況にもよるが、ほとんどの協会員がドローンを所有している。
ドローンのほうが早いと判断すれば使用する。ただし、天候や場所によっては不可能な場合もある。

